

北海道函館市の高橋病院が、同市内元町から時任町へ新築移転。地域医療の一大拠点として新たなスタートを切った高橋病院では、4000Kと5000KのLED照明器具を使い分け、患者が利用する共有部には落ち着いた安心感のある光環境、医療行為を実施する居室には照度を保った機能的な光環境を提供しています。

新しい高橋病院は、1階に外来・検査部門のほか地域交流の場となるコミュニティスペースを、また2階には地域の一大拠点となるリハビリテーション設備を、3階には地域包括ケア病棟と介護医療院を有した、函館市の地域医療の拠点。病棟は「ぶどうの房」をイメージした病室配置とし、中央のスタッフステーションから病室まで迅速に移動できる設計となっています。



【物件概要】
所在地：北海道函館市時任町1番2号
規模・構造：鉄筋コンクリート造・4階建て
延床面積：10,626.01㎡
設計：日揮（株）
施工：建築／（株）森川組
電気／（株）新宮電気設備
施主：社会医療法人 高橋病院
竣工：2024年9月



総合受付 4000KのLEDユニット交換形ダウンライト①とLED屋内用ライン器具②の間接照明により、あたたかみのある落ち着いた空間を創出。

コンパクトなLED屋内用ライン器具による間接照明が、あたたかみのある空間を演出。

高橋病院の照明は、待合室やエントランスホールなど、患者が利用する共有部はあたたかみのある4000KのLED照明器具で落ち着いた空間を演出。診察室や検査室など、医療行為を実施する居室では主に5000Kの器具を採用し、照度と機能性を優先した設計としています。

患者共用部に多く設けられた間接照明には、幅25mmのコンパクトサイズで狭いスペースにも配置しやすい4000KのLED屋内用ライン器具を採用。また病室には、看護の際の明るさを確保しながら、寝ている人へのまぶしさ低減にも配慮した、病院・福祉施設向けLEDダウンライト

を採用し、落ち着いた内装とともに安心感のある空間を創出しています。

外来や入院を含めリハビリテーションの地域拠点となることをイメージして設計された2階の広大なリハビリテーション室では、LED一体形スクエア器具を用いて開放的でアクティブな空間を演出。診察室や検査室では、LED一体形スクエア器具のグレア抑制タイプを採用しています。

さらに、地域交流の場でもある1階のコミュニティスペースではSESLシリーズを採用し、シーンセレクターにより利用状況に合わせてあかりのシーンをワンタッチで切り換えられる仕様としています。



SESLのシーンセレクター（コミュニティスペース）

主な掲載器具一覧					
設置場所	器具名（品名）	形名	台数	備考	
受付、コミュニティスペース 他	① LEDユニット交換形ダウンライト 一般形 白色反射板 広角タイプ	LEKD203023W-LS9	536	消費電力：14.0W	
間接照明	② LED屋内用ライン器具 全長1,200mm	LEDL-12401W-LS9	191	消費電力：21.2W	
リハビリテーション室	③ LEDベースライト 一体形スクエア 光源ユニットタイプ 埋込形 □450 一般タイプ	LEKR45S901W-LD9	43	消費電力：56.3W	
スタッフステーション内	④ LEDベースライト 一体形スクエア 光源ユニットタイプ 埋込形 □350 一般タイプ	LEKR35S651W-LD9	36	消費電力：41.5W	
診察室	⑤ LEDベースライト 一体形スクエア 光源ユニットタイプ 埋込形 □450 グレア抑制タイプ	LEER74531+LEEM-G-70651N-LD	6	消費電力：41.5W	
病室	⑥ LEDユニット交換形ホスピタルダウンライト φ150 広角タイプ	LEKD2533125WV-LS9	148	消費電力：17.1W	



リハビリテーション室 9,000ルーメンのLED一体形スクエア器具③を均等配置し、明るく開放的な空間に。



スタッフステーション 執務エリアにはLED一体形スクエア器具④を採用し明るさを確保。



診察室 まぶしさに配慮し、グレア抑制タイプのLED一体形スクエア器具⑤を採用。



コミュニティスペース ダウンライト①のあかりをSESLによりコントロールし地域交流の場を演出。



病室 広角タイプ4000Kの病院・福祉施設向けLEDホスピタルダウンライト⑥を採用。